



院内災害訓練を開催しました

災害医療体制の基盤

当院は平成 26 年に災害拠点病院に登録され、災害派遣医療チーム (DMAT) を 2 チーム有するなど地域の災害医療の要としての役割を担っています。昨年度からは救急科を中心に災害訓練の定期開催を行っており、本年 2 月 12 日に令和元年度第 2 回目となる院内災害訓練を開催しました。

これはトリアージ訓練※ 1 といった派手な訓練ではなく、災害対策本部と院内各部門の連携方法や情報整理の手順を確認する災害医療体制の基盤となる訓練でした。

シミュレーション訓練を実際の時間経過で行うことで緊張感のある訓練となり、各所で活発な情報交換がなされ、問題点の解決についても部門ごとに連携しながら対応する姿がみられるなど、災害医療への意識をさらに向上することができた充実した訓練となりました。

これらの災害訓練を定期開催することで職員の動きもスムーズなものとなっており、災害拠点病院としてさらなる機能強化につなげることができています。



救急科診療看護師
(JNP)

平田 祐太郎

災害対策担当者の配置

当院では院内の各部門 (診療部、看護部、薬剤部、放射線科、栄養科、リハビリテーション科、臨床検査科、庶務課、防災センター) に災害対策担当者を配置しています。先ほどご紹介した災害訓練の計画実施のほかにも、災害マニュアルの改訂作業や防災グッズが入った災害ボックスを全部門に配置するなどの活動も行っています。各部門の担当者を中心に災害医療の必要性や対策等を院内全体に発信することで、いつ起こるかわからない災害に対しての意識を常に持ち、有事の際には病院全体で適切な災害医療を実践できると考えております。

災害から地域の皆様の安全を守ることができるよう、これからも訓練を重ね災害拠点病院としての役割を十分に果たせるよう努力してまいります。

防災関係や災害対応方法などなにかご質問などあればいつでもお声かけください。

※ 1 トリアージ…患者さんの重症度に基づいて、治療優先度を決定して選別を行なうこと。

